

令和6年度  
校長だより

# あかつき

2月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～



丹波市立新井小学校 校長 谷川知美

大寒の時期を終え、少しずつ日脚が延びるのを実感しています。地域の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の学校教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この時期の学校では、6年生が学校への感謝を込めて…と、12月号で紹介した「校内あいさつ運動」や、「掃除を15分から始めようプロジェクト」などに取り組んでいます。そして5年生は「6年生を送る会」の準備を始めています。

先日は、朝のあいさつ運動を終えた6年生が、5年生の児童に「今日は僕たちがいないから、お昼の放送頼むな！」と、声をかけ、次期6年生にバトンを渡していました。中学校の入学説明会に行くのだと知った5年生は、それにこたえようと頑張りました。

下学年の児童も、新学期に向けての0（ゼロ）学期を積極的に過ごしており、春の足音が間近に感じられる嬉しい毎日です。



2月8日土曜日に降った残り雪の中、10日月曜日の子どもたちは、寒さに負けず、楽しそうに遊んでいました。

## 鬼たいじ

今年の節分の日には4年ぶりに2月2日でした。2月3日のイメージなのですが、立春の影響を受けて変動します。4年前の2月2日の節分は、124年ぶりだったので、世間が盛り上がった記憶があります。

これからの約30年間は、4年ごとに2月2日の節分がやってくるそうです。



少し遅れましたが、2月7日に学校で豆まき行事を行いました。豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や邪気を鬼に見立てて、それを追い払うための日本の伝統行事です。

子どもたちは、「鬼は外、福は内」と言いながら鬼役の児童会メンバーや先生方に新聞紙で作った手作り豆を当てました。自分のなまけ鬼やコンプレックス鬼を追い出すイメージで、元気に楽しく投げていました。一方で、鬼に泣き出す低学年が…。高学年が抱きかかえたり、優しくなだめたりする姿が素敵でした。そこに鬼はいません。ほっこりした気分になりました。

皆さんのお家では、何を願って豆まきをされましたか？

## あなたには良いところがありますか？

先日、全校生へ絵本の読み聞かせをしました。その時の冒頭の一言です。皆さんなら、どう答えられますか？



子どもたちは、とても遠慮がちに手を上げました。私は、唐突に聞きすぎたと思いました。できることなら、全員が「はい！」と手を挙げてくれる聞き方をすればよかったと、今更ながら反省しています。

この質問は、本校の学校目標の「新井が好き、学校が好き、自分が好き」の根幹に係る内容でもあります。私は一年間の教育活動の反省も込め、「ええところ」という絵本を読みました。

【学研：くすのき しげのり】



主人公の小学1年生のあいちゃん、背が低くて足も遅くて、お勉強も100点を取ったことがない女の子。「わたしってええところひとつもないなあ」と、友達のともちゃんに言うと、ともちゃんが良いところを見つけてくれました。

主人公が、自分の良さを発見するだけでなく、お友達のあたたかさに気づいたり、ほかのお友達へのあたたかい思いが広がったりするお話です。

【子どもたちの感想】

- いいところがないと思っていても、どこかいいところがあるということ。私も他の人のいいところを見つけたいと思いました。
- だれにもいいところがあるのだと思いました。僕も友だちのいいところを探したいです。みんなに優しくしたいです。
- 校長先生が伝えたかったことは、みんな一人ずついいところがあるって伝えたかったんだと思います。

～ ありがとう ～

しっかりと、私の話を受け止めてくれた子どもたちでした。とても嬉しいです。

ええところが見つかる、自己肯定感が上がります。また、ありがとうと言われることで自己有用感も育ちます。子どもたちの「ええところ見つけ」が、日々の日課になることで、人間関係があたたかくなることを期待しています（^^）

## 心にゆとりを

「自尊感情栄養理論」提唱の金香百合（キムカユリ）さんによると、心の栄養を周りの人からもらえると自尊感情が高くなるのだそうです。そのために、私は「このことについては、〇〇さんが認めてくれている。」と思えることが大切だと考えています。家族や知人から「いいね」と言ってもらえそうな「自分のええところ」を、「ひとつ」探してみてください。心にゆとりが生まれます。

私は、新井地区の方からの「ありがとう」にいつも「ゆとり」をいただいています。感謝しています。

